

# 4月から公共下水道が利用できます

## 供用開始予定区域

下水道が利用できる区域を供用開始区域といいます。平成22年春の供用開始予定区域は、三本木、馬島、花常、堀之内、中島、砂子の一部区域です。詳しくは下図をご覧ください。

## 下水道を利用するには

下水道を使用していただくためには通常は次の3つの費用の負担が必要となります。

### ① 宅内排水設備工事費

下水道を利用するには、家庭の排水を下水道に接続する工事をしなければなりません。この工事費は、各個人の負担になります。また、工事は町が指定する下水道排水設備指定工事店で行わなければなりません。指定工事店については、ホームページで確認していただくか、下水道課へお問い合わせください。

### ② 受益者負担金

受益者負担金は、下水道に接続するときに納めていただきます。

下水道に接続する工事の計画について確認申請を提出し

ていただいたとき、町が受益者申告書の用紙を渡します。その用紙に受益者を記入して申告してください。

負担金は、下水道を利用する土地を含め一体的に使用されている土地の面積1㎡当たり270円です。

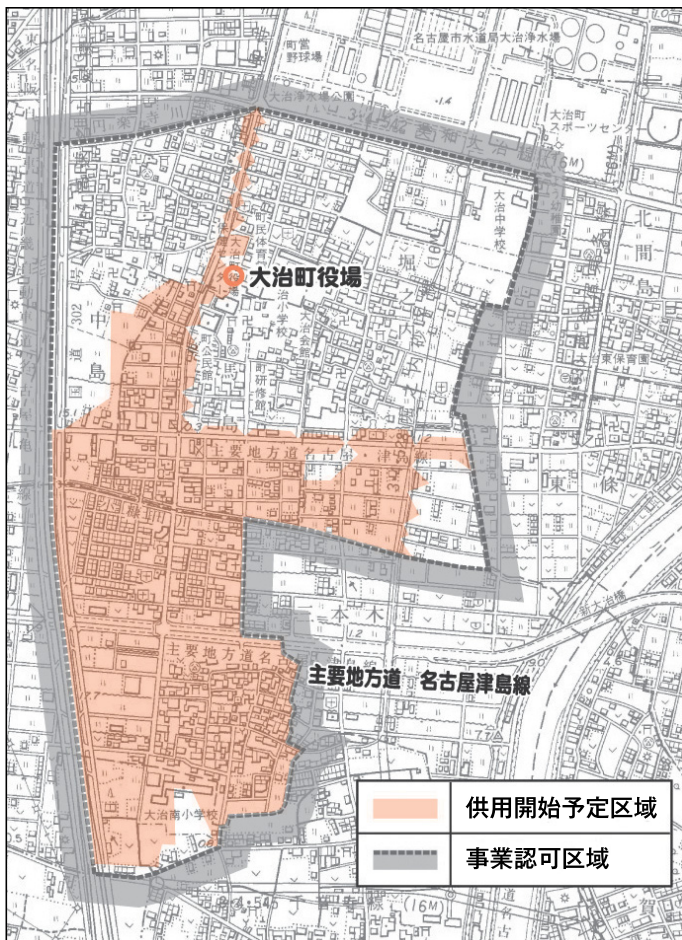


【例】負担金対象の土地を200㎡(約60坪) 所有している場合  
270円×200㎡=54,000円

### ③ 下水道使用料

宅内の排水設備工事を行い、下水道の使用を開始すると、下水道使用料が必要になります。使用料は、原則として水道水の使用量に応じて次の表で算出します。使用料は2カ月ごとの納付になります。

## ●平成22年春供用開始予定区域



## 下水道使用料金表(1カ月当たり)

区分	基本使用料		従量使用料	
	排出量	金額	排出量	金額 (1㎡につき)
一般用	10㎡まで	1,155.0円	10㎡を超え 20㎡まで	115.5円
			20㎡を超え 30㎡まで	126.0円
			30㎡を超え 50㎡まで	157.5円
			50㎡を超え 100㎡まで	189.0円
			100㎡を超え 300㎡まで	220.5円
			300㎡を超え 超えるもの	252.0円

※使用料の額には、消費税および地方消費税の額が含まれています。

## 下水道供用開始の説明会

下水道が供用開始される区域内の方を対象に下水道の説明会を行います。説明会は地区ごとに行う予定ですので、ぜひご参加ください。開催日時や開催場所については後日お知らせします。

# 排水設備指定工事店の受付を行っています

公共下水道の供用開始後に、下水道を利用するために行う排水設備工事を施工する指定工事店の申請を受け付けています。あわせて排水設備工事責任技術者の登録申請も受け付けています。指定された指定工事店をホームページに順次掲載していますのでご覧ください。

## 指定工事店の主な指定基準

- ・町に登録する排水設備工事責任技術者が1名以上専属していること
- ・県内に営業所があること
- ・管の切断、加工、接合用の機械器具を有すること

## 責任技術者の主な登録基準

- ・日本下水道協会愛知県支部が実施する試験の合格者で現在も資格を有する者

## 手数料

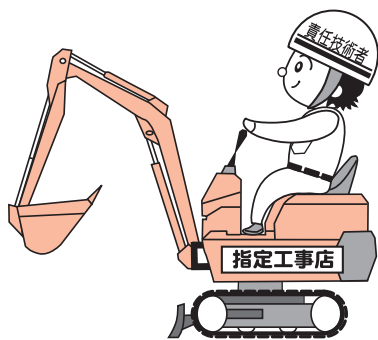
申請の際、次の事務手数料が必要です。

- ・指定工事店の指定 100000円
- ・責任技術者の登録 20000円

## 申込・問い合わせ先

役場 下水道課  
内線 155・164

※申請方法や申請様式についてはホームページに掲載していますので、ご確認ください。



## 女性特有の

# がん検診のすすめ

### 40〜50歳代の乳がんが激増しています

わが国では、1年間におよそ3万5千人の女性が乳がんと診断されています。これは、胃がん・大腸がんと並んで女性に最も多いがんの一つです。乳がんの特徴は、40〜50歳代の女性に特に多く見られることです。例えば、45〜49歳の女性で胃がんと診断されるのは1年間で3千人に一人なのに対して、乳がんは千人に一人と約3倍のリスクがあります。また、40〜50歳の乳がん発生率は、この20年間で約2倍に増加しています。一方、乳がんで亡くなる女性は1年間に1万人で、40〜50歳代の女性におけるがん死亡の23%を占めており、この年代の女性にとって最も多いがん死亡原因となっています。

### 子宮頸がんは20歳代の若年層で激増しています

子宮頸がん検診は非常に有効で、進行がんを防ぎ死亡を減らす効果が証明されています。欧米での受診率は高く、例

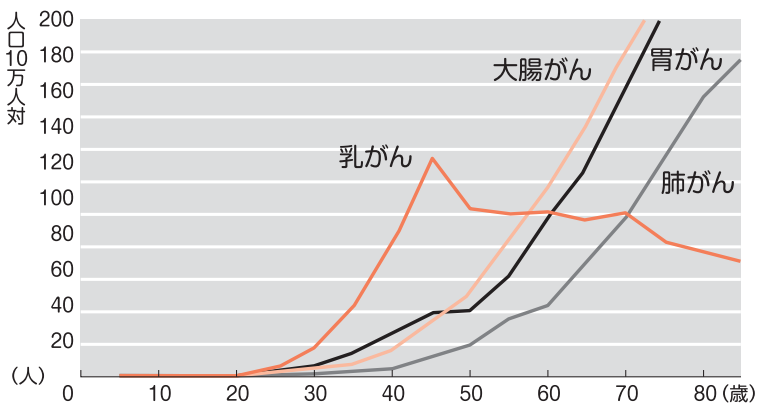
えばアメリカでは、18歳以上の女性の86%が過去3年以内に1回以上検診を受けています。(2002年)

一方、日本では過去1年以内に受けた女性は15%足らずにとどまっています。

子宮頸がんの発生率は、50歳以上の中高年層ではこの20年間で順調に減ってきていますが、逆に20〜24歳では約2倍に、25〜29歳では3〜4倍に増加しています。

これは、子宮頸がんはヒトパピロームウイルス(HPV)の感染が関与しているからです。そのため、高齢になるほど多くなる他のがんと違って、性活動が活発な若い年代での感染が増え、若年層で増加していると考えられます。

女性の部位別がん発生率



引用：国立がんセンターがん対策情報センターホームページ  
HP <http://ganjoho.jp/public/index.html>

子宮頸がんは無症状の期間が長く、早期に見つけることが重要です。

●クーポン券送付者対象  
乳がん・子宮頸がん検診日

●集団検診  
1月25日(月)

●個別検診  
お問い合わせください。

お問い合わせ先  
保健センター健康館すこやか  
おおほる

☎(444)2714